

# ヨシでびわ湖を守る ネットワーク通信

35

VOL.



## 獲物を狙うミサゴ

撮影:TO

とうとう画像に撮らえることが出来ました。西の湖付近で空を見上げてみると白い胴体にタカ模様の尾翼。ミサゴが獲物を探して上空に姿を現したのです。空中で静止(ホバリング飛行)しながら湖面をにらむ姿は、まさにオスプレーと言われる飛行状態でした。慌ててカメラを向けたのですがなかなか上手く撮れません。あっという間に飛び去ってしまい残念と思いきや、再度やってきました。それも2羽。きっとペアなのでしょう。1羽に照準を合わせ夢中で撮影した内の一枚です。私の見ている間には結局、獲物のを掴むことは出来ず、2羽とも休暇村の山の方に帰っていきました。時計を見ると興奮の時間はざっと30分ほどでした。

### びわ湖を知る ■ 問題



ミサゴの主食は何でしょうか？

- ①鳥類
- ②魚類
- ③は虫類
- ④両生類

# ネットワーク 広場

ヨシでびわ湖を守る  
ネットワーク

株式会社 コクヨ工業滋賀

太田 俊浩 より



## 地域社会と連携活動を実践する 「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」

2009年に発足した「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」は、現在131社の企業・団体・行政が賛同する活動組織に成長しました。今年10周年を迎えた当ネットワークは、多種多様な事業者がゆる〜くつながり、ヨシ原保全を通して、地域の方で琵琶湖環境の保全・維持に貢献するという当初の思いを守り続けています。

### 【これまでの活動実績】

1. ヨシ刈りボランティア(3回/シーズン) : 延べ37回・494社・4800名を超える参加者。
2. 外来魚釣り大会(6月) : 延べ 9回・107社・1100名を超える参加者。
3. カヌーでヨシ原観察会(8月) : 延べ 6回・35社・約100名が参加。
4. Web広報誌「ネットワーク通信」 : 今回で35号を発行。

冬



2007年 社内有志による  
ヨシ刈り体験



2009年 ネットワークで  
初めてのヨシ刈り



2019年 産学官民が集う  
ヨシ刈りに成長

夏



家族で外来魚釣り



生長期のヨシを  
湖面から観察



### 【冬ヨシのカーボン回収量制度】

3年間のバイオマス調査の最新データから冬ヨシのカーボン回収量制度へ発展させる新たな挑戦を滋賀県と琵琶湖博物館と協働で進めています。ヨシ原の保全活動の効果が数値化されることで活動の意義、魅力を発信できると考えています。

### 【継続と発展を願い】

環境活動とは、地道な継続が最も重要です。

人を引きつける環境活動が次の世代に延々と引き継がれることを望んでいます。



# ネットワーク アルバム No.1



授賞式: 9月26日(木)

## 第6回 生物多様性日本アワード グランプリ受賞

この賞はイオン環境財団が主催し、環境省・国連生物多様性の10年日本委員会が後援しています。生物多様性の保全と持続可能な利用の推進を目的としており、生物多様性分野では最高峰の賞です。



『岡田卓也理事長と記念撮影』



『受賞5団体と記念撮影』



『授賞式のようす』



『プレゼン風景』

『10/30日本経済新聞 掲載(関東版)』

昨年夏の日本水大賞「経済産業大臣賞」、今年2月の文部科学省青少年育成表彰に続き大きな賞をいただくことが出来ました。地味な活動を地道に「継続すること」「発信すること」そして、「あきらめないこと」を改めて実感しています。皆さまのご支援のおかげと心より感謝申し上げます。

『11/25  
三日月知事報告』⇒



# ネットワーク アルバム No.2



ヨシでびわ湖を守る  
ネットワーク

開催日: 11月1日(金)

## ヨシでびわ湖を守るネットワーク 交流会(感謝祭)

ネットワークが発足して10年、これまでの活動やリエデン商品を盛り上げていただいた皆さまに感謝し、これからも更に親睦を深めていくために交流会(感謝祭)を開催しました。



『参加者全員で記念撮影』



『馬淵琵琶湖博物館  
副館長 祝辞』

『三宅社長挨拶』



『増淵さん乾杯』



『事務局より』

多くの会員さまに参加いただき、和やかな  
雰囲気にもまれた親睦の会となりました。  
きっとこの交流から新たな出会いが  
生まれていくことでしょう。!



### びわ湖を知る ■ 解答

#### ②魚類

ミサゴは魚を主食とすることで  
「魚鷹(うおたか)」の異名があるそうです。

# ネットワーク アルバム No.3

## 伊庭内湖 ヨシ刈りのようす

12月7日(土)

11回目となる伊庭内湖ヨシ刈り、由布副知事を迎えネットワーク174名を含む300名を超える参加者が一緒にヨシ刈りを楽しみました。約1時間半ほどで刈り取りが終了し恒例の全員で記念撮影です。



『作業前の風景』



NHK WORD JAPAN の番組取材などメディア取材が入り  
いっぴく活気あふれるヨシ刈りとなりました。



『開会式風景』



『子供たちもお手伝い』



『CO2回収量算定のためランダムに  
刈った10本のヨシの高さを測定中』



『作業終了後の風景』

皆さんに  
お知らせ

## ヨシ刈り活動によるCO2回収量の算定について

VOL.33 - 4月号でご案内しておりました、

「冬のヨシ原のバイオマス調査～炭素量(CO2)回収量評価へ」がいよいよ動き出しました。

第一歩として、ヨシ刈り活動とそのヨシを利用することによるCO2回収量の簡易算定方法が開発できました。この算定ツールを利用することで我々が刈り取りによる保全を行っているヨシ原のCO2回収量の数値化が可能になります。

まず、今シーズン予定のヨシ刈り実績を基にCO2回収量を算出し皆さまに公開させていただきます。

【滋賀県ホームページ】に掲載

### ヨシ刈り活動によるCO2回収量の算定について

Excel【刈取りヨシのCO2回収量算定ツール】

刈取り「面積」と刈取りヨシの「高さ」により、

刈り取ったヨシのCO2回収量を算定できます。 ↓

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/308175.html>



※ 加えて「低炭素社会づくり推進条例に基づく事業者行動計画書制度」に

ヨシ刈り活動によるCO2回収量を記載いただけます。 ↓

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/ondanka/13583.html>

## ネットワーク通信について

2009年より発信して参りましたネットワーク通信も今回でvol.35号となりました。各方面の専門家のお話や会員さまの取組み紹介、ネットワーク活動の報告、リエデン商品の紹介など皆さまに様々な話題を提供させていただきました。今年、区切りとなる10年を迎え、一旦定期の配信を終了させていただきます。今後は、不定期発行となりますが、ホットな話題や魅力ある話題、皆さまから提供いただける話題を中心に若い力を借りて配信を継続出来ればと考えております。ひとまず、定期配信終了のお知らせとさせていただきます。

